

3 箇所で簡単設置 Web 観測実施中 170728

単管 1 本に観測機器を固定して Web 計測、上から雨量と水位、中央と下が、雨量と土壤水分 4 箇所の深さの観測 例です。 実際設置し観測すると色々発見があります。 全て Web で状況が見られ、全体を通した観測の見方を工夫する予定です。

用水路の水位と雨量を同時観測

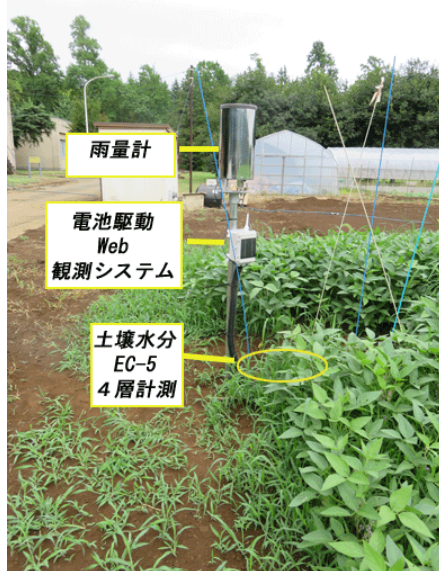


機器は事務所で設定済みなので単管打ち込んで 2 時間ほどで運用開始です。

雨量計は社内検定 0.5mm で水位センサーは 10 m 0.1%FS 1mm の分解能で計測を続けています。

3 つの設置箇所は筑波ですが、一方が短い土砂降りのあめでも一方は全く降っていない事も観測できました。

大豆畑の雨量と土壤水分観測



単管を埋め込む為にオーガで 50 c m ほど穴を掘り単管を埋め込んで雨量計と観測システムを取り付け、土壤水分センサー EC-5 を 5 c m の深さから 5 0 c m の深さまで 4 層の含水率観測に設置しました。

雨が降るとどの様に水が染み込むのかを下の柿林と比較します。

土壤水分センサー埋め込みを研究者の方にお手伝い頂きました。土の質や穴を掘る所とセンサーを埋めるところは別にしてキチンと観測できる工夫をされていました。勉強でした。

柿林の雨量と土壤水分観測



設置方法は、大豆畑と同じで設置した土壤水分計の深さも同じです。雨量計をつけているので林間の雨量が観測できます。

実際観測を始めると降雨量は表の半分位、木陰が雨を避けています。

こちらは、日陰なので乾電池モデルを使って観測しています。